

リーフレット「幼児期から大切にしたい学びに向かう集団づくり」の活用について

栃木県総合教育センター 幼児教育部
平成27年3月

以下の活用例を参考に、幼稚園・保育所・小学校の実態に合わせ、工夫して御活用ください。

活用例1 カリキュラムの作成・見直し

- ① リーフレットを読む。
- ② 自校園の子どもの姿や指導方法について話し合う。
- ③ 自校園の子どもに必要な経験や指導を洗い出す。
- ④ カリキュラムに位置付ける。

活用例2 園内・校内研修

- ① 事例を読む。
- ② 自分が担任だったらどのように関わるか話し合う。
- ③ 指導のポイントを見直したり付け加えたりする。
- ④ 常に見えるところに置いて教職員全員が共通理解をする。



- 保育・授業の構想に
 - ・幼児理解に基づく環境の構成や援助に
 - ・児童理解に基づく授業の展開や指導に
 - ・入学を境にした引継ぎに

- 職員研修に
 - ・学校課題や研究課題に
 - ・初任者指導に
 - ・学年会やブロック研修に



例えばこんな使い方ができます！

- 保護者との連携に
 - ・保育参観、授業参観の資料に
 - ・教育相談の資料に
 - ・学年だよりの話題に

- 幼・保・小連携に
 - ・地域や各市町の連携組織の研修テーマに
 - ・幼・保・小の教職員の情報交換、相互理解に
 - ・入学説明会、就学時健康診断等に

活用例3 保護者会

- ① リーフレットを配布する。
- ② 子どもの育ちが見通せるように事例を選んで解説する。
- ③ 指導方針や方法について説明する。

活用例4 幼・保・小の合同研修

- ① リーフレットを読む。
- ② 互いの教育について質問し合い、理解する。
- ③ 入学を境にした時期に大切にしなければならぬことを導き出す。
- ④ リーフレットに書き加える。

リーフレット及び本紙は、栃木県総合教育センターのホームページよりダウンロードできます。

栃木の子どもの育ちを
幼稚園・保育所・小学校・保護者
みんなで支えていきましょう！

